

事業名 令和5年度 第70回中越地区公民館研究大会

目的 公民館の今後のあり方や可能性について関係者間での議論を深め、より効果的な事業展開に向けた情報交換や学びの機会とする。

実施主体 主催：中越地区公民館連絡協議会
共催：新潟県公民館連合会

参加対象 公民館職員・関係者、社会教育関係者

参加者数 会場参加 61名
オンライン参加 35名 合計 96名

期 日 令和5年10月26日（木） **会 場** 燕市文化会館

内 容

	時間	講 演	講師
1	90分	三条市民大学が考える ～未来の人づくり・地域づくり～	三条市立大学学長 アハメド シャハリアル 様
	内 容	<ul style="list-style-type: none"> ・地域創生に何よりも大事なもの ・本来得るはずの経験不足⇒実学志向へ ・地域大学として地域の力を利用したプログラム 	
	時間	事例発表	発表者
2	30分	三条市嵐南公民館 「音楽を身近に感じる公民館へ」 (令和4年度優良公民館表彰受賞)	三条市嵐南公民館 高橋 藍子 様 (現三条市東公民館職員)
	内 容	<ul style="list-style-type: none"> ・取組の経緯 自公民館の特徴と住民ニーズの把握 ・取組の内容 定期的な鑑賞会の実施、様々な音楽に触れる機会と地元の演奏者や団体の出演 ・取組の成果 鑑賞会に多くの参加⇒若者の公民館への関心増、公民館利用者増 ・課題と今後の展望 乳幼児も楽しめる音楽、音楽の歴史等を「学ぶ」講座 	

- 成 果**
- 参加者アンケートでは、講演 83%、事例発表 90%の肯定的な評価であった。講演では、「人づくり・地域づくり」視点で、講師と大学が大切にしていることやその理由を具体的にお話しいただいた。公民館の担う役割と結びつく点も多く、参加者は視野を広げることができた。
 - 事例発表は、自公民館が持つ施設特徴を生かして、住民のニーズに対応している取組であった。また、若者を公民館に呼び込むヒントも含まれており、参加者にとっておおいに参考となる事例であった。
- 課 題**
- ・ オンライン参加は、遠方者の負担軽減と参加者増につながるが、会場参加者が減少してし、参加者同士のコミュニケーションの機会が減る。
 - ・ 情報交換の時間の確保をどうするか。
 - ・ オンライン運営の負担が増える。



問合せ先 中越地区公民館連絡協議会（担当：岩田 一紀） TEL： 0258-38-2652